

そうほうもん

S O H O M O N

第21回



coworking space あさひかわ37
代表

加藤博久 かとう ひろひさ
Coworking Space 管理運営

1980年 北海道旭川市生まれ
2003年 札幌大学法学部法学科卒業
2014年 Coworking Space あさひかわ37代表
2015年 ASC入会
2016年 旭川大学院入学

〒070-0033 北海道旭川市3条通7丁目ヨネザワセブンビル2F
<http://www.asahikawa-37.com/>

「学び」とは好奇心。疑問に思うことの積み重ね

税理士になることが最終ゴール

「Coworking Space 37」を立ち上げたきっかけは。

加藤 このスペースが開店休業みたいな形で、もうつぶすかという話があつて、そのとき僕がちょうどここで簿記の講座をやつていて、受講生がビルのオーナーだったんです。なくなるに困るので、じゃあ頑張りますと手を挙げたのがきっかけです。——やつてみていかがですか。

加藤 しんどいですね。何一つもうけない。とはいえないいろいろ自習室やボードゲーム、イベントもベチャクチャナイトとかクリエイターズイノベーションとか、どんどんここからホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック等で発信しています。でも税理士になるまで本業は勉強なので、夜は旭川大学の大学院へ通っています。

——税理士試験があるんですね。
加藤 試験は全部で5科目で、1科目ずつ受ける。2科目受かったの

で、反復継続が繰り返す必要なんです。

——根気が要るということですね。

加藤 難しいですけど、やっぱり教える場所というものにこだわりたい、通信じゃないものを提供したい。

踏み出すためのリスクを全てクリアしてこそ本物

——起業を目指している若い方がたくさん集まっています。何か声を掛けるとしたら。

加藤 悩むぐらいなら聞いた方がいい。絶対に答えはある。僕で答えられることは答えまし、ほかの人から聞いて比べることもできる。生の声を聞いてほしいですね。踏み出すときはかなりリスクがある、起業するのって、自分の気持ちも含めて、結構言われると思うんですね、やっぱり駄目じゃないかとか、ここまで考えたのかとか、それをすべてクリアしてでもやりたかったら本物。周りの意見に左右されるぐらい

だつたら、そもそも駄目という判断材料にもなるし。

——モチベーションアップにもなりますね。

加藤 同じ環境や境遇の人がいるんだと思うと頑張れる場合もありますし、そういう場所になればいいなと思っています。

——すごくお忙しいようですが、余暇は何をなさっていますか。

加藤 お酒を飲みに行きますね。時間があつたら遠出して温泉に行きたいですけど、なかなか時間がなくて。

——最後に、加藤さんにとって学びとは何ですか。

加藤 好奇心ですかね。これどうなっているんだろうって調べている積み重ねが学びかな。まずは疑問に思うことです。



Coworking Spaceは、ボードゲーム仲間が集う場所としても人気のスポットになっている。